

日本建設機械化協会

A.C.M.J.

No. 52

1954年6月

「港湾建設機械」特集号

目次

我国港湾工事用作業船は こうして進歩しつつある……………	上野省二	1
我観浚渫船……………	鮫島茂	3
建設機械は足りているか……………	嶋野貞三	5
ポンプ浚渫船の話……………	岡部三郎	6
港湾工事用コンセントリックバッチャープラント……………	肥後春生	8
神戸港コンクリートプラントについて……………	板尾純一	13
可変ピッチプロペラ曳船について……………	高木博二	18
ショナイダープロペラ曳船 (あかつき丸)について……………	田口重一	21
随筆——誠意……………	X 生	25
トルクコンバータ直結50噸起重機船について……………	平川久	26
流体接手利用ディーゼルポンプ浚渫船について……………	内田豊	30
油圧式土運船泥扉閉閉装置及び実績について……………	{ 遠藤鶴雄 藤田雅彦	34
最近の欧米における作業船の傾向 (第十八回国際航路会議報告書より)……………	三宅淳達	40
国産建設機械の危機とその対策……………	加藤三重次	46
現場から——(V) "Contractorの自主性"……………	中岡二郎	49
製砂設備を尋ねて……………	大宮人	51
日本建設機械化協会の動き 行事一覧……………		54
編集後記……………		54

◇表紙写真説明◇

無人土運船(傾倒復元式土運船) auto barge.

株式会社渡辺製鋼所において運輸省工業化試験補助金により研究建造されたもので、昭和28年9月より実験を行い好成績を示したものである。

本船の主要寸法は

	19米×4米×1.9米
軽荷吃水	550耗 満載吃水 1.7米
泥艙容積	36立米
写真	(左上) 泥土満載の状態 (右) 傾倒復元の状態 (左下) 復元の状態